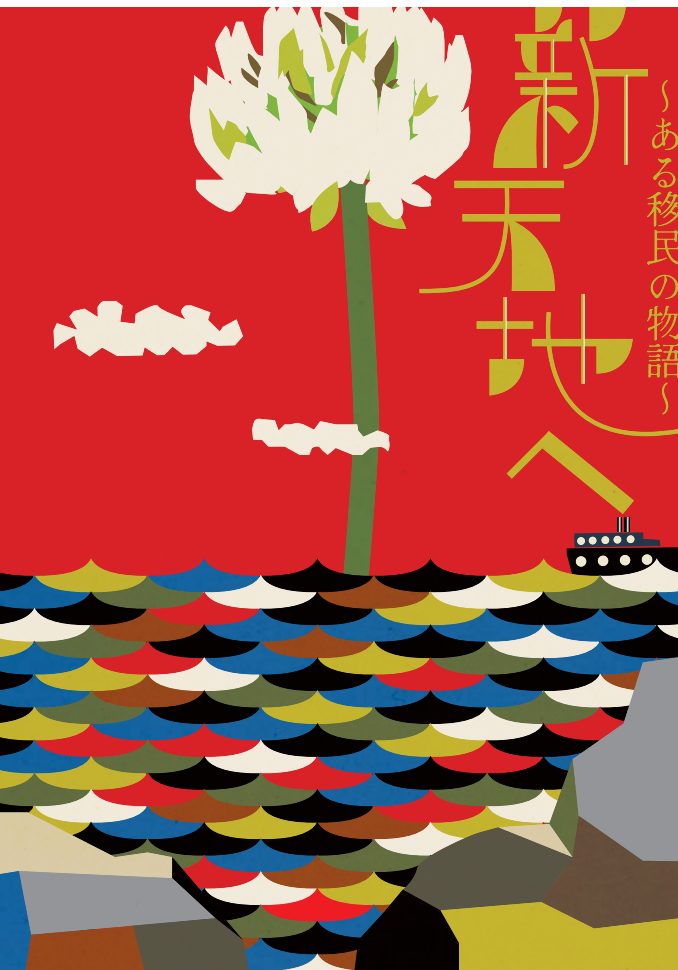


明日の劇場へ

into

【イントウ】



兵庫県立ピッコロ劇団第82回公演

「新天地へ ～ある移民の物語～」

兵庫県立ピッコロ劇団後援会
ピッコロサポートクラブ機関誌

2025.4

vol. 89

Contents

兵庫県立ピッコロ劇団第82回公演 「新天地へ～ある移民の物語～」	1
兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場 「タラレバ幽霊とタカラの山」	6
兵庫県立ピッコロ劇団第83回公演 「火のようにさみしい姉がいて」	7
ピッコロサポートクラブ	10
ピッコロシアター催物/学校/資料室	12
劇団員あれこれ	14
シリーズ探訪53「新しい風を」	20



ピッコロシアター／兵庫県立ピッコロ劇団

〒661-0012 尼崎市南塚口町3丁目17番8号
Tel:06(6426)1940 Fax:06(6426)1943

<https://piccolo-theater.jp>

兵庫県立ピッコロ劇団第 82 回公演

新天地へ

～ある移民の物語～

作・演出=島守辰明 (ピッコロ劇団)

夢みた道すじ、生きたあかし。

日 時	2025 年	全席指定 (税込)	一般	3,500 円
	5月31日 (土) 14時*		大学生・専門学校生	2,500 円
	6月 1日 (日) 14時*	高校生以下	2,000 円	
	4日 (水) 19時	※未就学児のご入場はご遠慮ください。		
	7日 (土) 15時	会 場	ピッコロシアター 大ホール	
8日 (日) 14時				

*開場は開演の 30 分前
★はバリアフリー字幕付き公演
舞台の両側に日本語で字幕を表示します。

チケット取扱い▶

【ピッコロ劇団】

■ピッコロシアター窓口/電話 06-6426-8088 (9:00～21:00 ※月曜休館、祝日の場合は翌日)

■メール gekidan-p@hyogo-arts.or.jp (件名を「新天地へ」としてください)

=記入事項=

①予約者氏名 ②電話番号 ③観劇日時 ④券の種類・枚数

※3営業日以内に返信がない場合はお問い合わせください。

※ピッコロサポートクラブ会員は会員種別により招待または1割引 (ピッコロ劇団のみで取り扱い)

【プレイガイド】※各WEBのみで取扱い

■チケットぴあ <https://t.pia.jp>

■ローソンチケット <https://l-tike.com>

■e+ (イープラス) <https://eplus.jp>

NEW! 2025年 共学化・大学名称変更 園田学園大学

☆経営学部 ビジネス学科 (共学)

☆こども学部 こども学科 (共学)

☆人間健康学部 (女子のみ)

総合健康学科/人間看護学科/食マネジメント学科



〈附属・併設学校〉

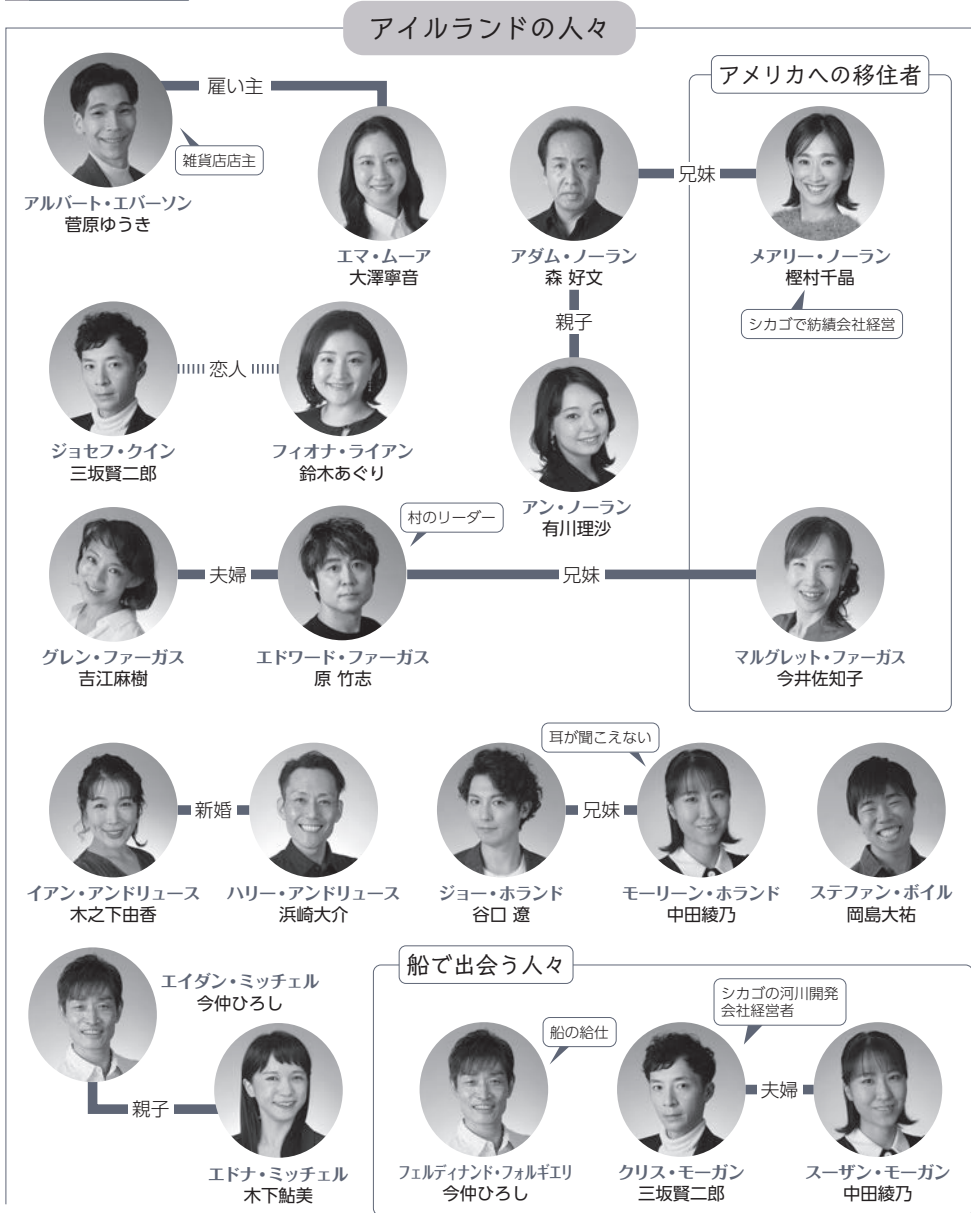
- ・園田学園高等学校 ・園田学園中学校
- ・園田学園大学附属園田学園幼稚園
- ・園田学園大学附属学が丘幼稚園 (神戸)



〒661-0012
兵庫県尼崎市南塚口町1-24-16
TEL: 06-6427-7848
FAX: 06-6427-7250
<https://www.sonoda-u.ac.jp>

SONODA
学校法人園田学園

相関図



【スタッフ】 美術=渡辺 舞 照明=竹内哲郎 ((株) ハートス) 音響=増田郁子 ((株) スタッフステーション)
 衣裳=木場絵理香 振付=伊賀裕子 手話監修=馬場博史、下坂幸恵 演出助手=中島深志 舞台監督=政香里沙
 チラシデザイン=チャーハン・ラモーン 字幕=眞山直則、吉村祐樹 鑑賞サポート=古川知可子、新倉奈々子
 制作=新倉奈々子、銭 大亮

「新天地へ」座談会

作・演出/島守辰明

出演/木下鮎美・中田綾乃



(左から) 中田綾乃、木下鮎美、島守辰明

ピッコロ演劇学校研究科 28 期、34 期、38 期と、卒業公演で繰り返し上演された本作。研究科主任講師でもある島守辰明と、過去の公演に学校生として出演した木下鮎美 (研究科 34 期卒)、中田綾乃 (同 38 期卒) に、あれこれ語ってもらいました!

▶ 皆さんにとって『新天地へ』はどんな作品ですか

島守: 最初にピッコロ演劇学校の研究科生たちから群像劇がやりたい、という話が出たんですね。そしてその頃にたまたま見たドキュメンタリーが、アイランドからアメリカへ渡った移民の話だったんです。それを見て、彼らが旅立つ前の生活を描いたらどうだろうか、必死に生きる中で葛藤する人々はドラマになる、と思ったんです。それに加えて、執筆当時は 2 年前に東日本大震災が発生してまだ間もない頃でした。人がいなくなるとはどういうことか、残された人はどう折り合いを付けられるのか、という自分なりに感じたことが、劇作に影響した、という面があります。

木下: 初演を観ていたピッコロ演劇学校の私の同期生が「アイランドの村が目の前で立ち上がった」と言っていたのが、今も印象に残ってます。後に自分が出演することになって、「次は私たちが立ち上げる番だ」と意気込んだのを覚えています。

中田: 実は私、ピッコロ演劇学校入学前に、木下さんが出演した『新天地へ』を、友達に誘われて見に行ったんです。とあるシーンで観客がハッと息をのみ、劇場の空気が変わったのを感じて、「カッコイイ! 私もやりたい!」と思ってピッコロ演劇学校に入りました。その後自分が卒業する年に出演して、劇

団に入って初めて出演する本公演もこの作品なので、すごく縁のあるありがたい作品だなと思っています。

島守: (各年度の学校生に合わせて) 登場人物を変えることで新たな問題が見えてきます。雑貨屋の主人が女性から男性に変わるだけで、ここにいる理由や抱えている思いも変わってくるのが面白いし、深くなる。それが版を重ねるとの面白さですね。自分の中での落としどころも違うものが付加されていくのが楽しい。「こういう本だったんだ」と気づくこともあります。

▶ 劇団で上演することについての思いを教えてください

島守: 例えば劇中のダンスについて、演劇学校では役の関係を盛り上げるための要素にとどめていたものも、劇団ではそれ自体をしっかり見せる必要があります。また、人間ドラマとしてもどれだけ深めたものを見せられるかが勝負だし、そのように稽古しなければならないと思います。

木下: 劇団員は皆バックグラウンドが違います。学校とは違って、それぞれが持っているものをバン! と出してくるので、ゾクゾクしています! 出演者が集まって、どれだけ大きなものができるかな。

中田: 私は今、研究科の助手をしています。

演劇学校の卒業公演では、学生たちがすごい熱量を発揮するんです。それは、彼らが普段の生活と学校を両立する中で培ってきたものが出るからだと思うんです。それを見ているから、自分がやる時に何をさせられるかということに責任を持たなければいけない、と感じますね。

▶ 上演に向けての意気込みをお願いします

木下: 今回改めてこの作品を読んだときに、学校生の時は理解できなかった他の役の背景が見えてくるようになりました。登場人物が皆主人公だと気づいて、この作品をまた一から、自分以外も含めて大事にしたいと思ったんです。私は、悩みを抱えている若い人を、演劇を通して勇気づけたいという思いがあります。「わくわくステージ*」でも上演できるという事で、やりがいがあると感じています。

中田: 自分の役について何を持ち込めるか、

何を足せるのかといった、自分の中で大事にしたいことは同じですが、作品全体に対しても自分に何ができるかを、もっと丁寧に考えていきたいと思います。それと、私がやった役を今回は大先輩の森好文さんが（性別を変えて）演じられるので、いろいろ勉強させてもらおうと思っています。

島守: 台詞を言うことも大事だけど、言えないことの方がドラマの核心で、そこには大切な要素がつまっているわけです。これをどれだけ役に蓄えるか、掘り下げられるのか。そこがお芝居を作っていて毎回、面白いところです。

中田: 今回は上演期間も長いです。お客さんからの反応で芝居も変わっていきますし、今回どういう風になっていくのかがすごく楽しみです！

(インタビュー：銭 大亮)

*中学生のための演劇鑑賞体験事業。兵庫県内の中学生を招待し、劇場での本格的な演劇鑑賞体験を提供します。

ものがたり

20世紀初頭、新天地アメリカは、貧困にあえぐアイルランドの若者たちにとって夢の国だった。

シカゴで成功したメアリー（櫻村千晶）が、身元引受人として故郷のアイルランドの小さな村で集めた移住者は、実の姪アン（有川理沙）を含めた若者たち。それぞれの家族、それぞれの生活を背負って、彼らは新天地を目指したが…実話にもとづき描かれる、若者たちの希望と葛藤の物語。



作・演出：島守辰明（ピッコロ劇団）

東京都生まれ。2003年から3年、ロシア国立モスクワ・マールイ劇場と附属シェープキン演劇大学にて研修。2006年ピッコロ劇団入団。ピッコロ劇団での主な演出や翻訳作品に、『ワーニャ伯父さん!』『私のかわいそうなマラート』『喜劇 かもめ』『長い墓標の列』『もういちど、鴨を撃ちに』『三人姉妹』など。そのほか劇団神戸など外部での演出も手がける。ピッコロ演劇学校では研究科主任講師を務め、新国立劇場演劇研修所や近畿大学などでも指導や演出にあたる。平成28年度尼崎市市民芸術賞受賞。

アイルランドについて



ダブリンの聖パトリック大聖堂

Photo by pt:Wikipedysta:A. CC表示・継承 2.5

「新天地へ～ある移民の物語～」の舞台となる20世紀初頭のアイルランド。豊かな神話や文化を持ちながら、植民地化や飢饉といった苦難に見舞われたこの土地の歴史を辿ってみましょう。

アイルランド島に初めて人類が居住したのは、紀元前8000年ごろとされています。4～5世紀にキリスト教が到来すると、学問と文化において大きな発展を遂げ、比較的平和な状態が続きました。しかし、9～10世紀に及びヴァイキングの侵襲、後に続く隣国イングランドによる抑圧・戦争を経て、アイルランドは事実上イギリスの植民地となり、圧政に苦しむこととなります。19世紀には「ジャガイモ飢饉」により100万人が餓死、ほぼ同数が国外に流出した大災害となりました。

こうした状況下で、イギリスからの独立の動きが高まり、1919年の「アイルランド独立戦争」の結果「アイルランド自由国」が成立、第二次大戦後はイギリス連邦から離脱して「アイルランド共和国」となりました。

現在でも北アイルランドの帰属についてイギリスとの間で問題を抱えています。経済再建と外国からの投資の増大により、1990年代には「ケルトの虎」と呼ばれる経済成長も果たしました。

アイルランドの文化



特徴的なケルト十字

アイルランド発祥の文化には、世界に影響を与えたものもいくつかあります。例えばキリスト教伝来以前に存在したケルト神話や文化は、現代の芸術や物語にもそのモチーフを見つかります。文学の分野では、20世紀最高の詩人の一人ともいわれるイエイツや、不条理演劇の代表作家であるベケットといった偉大な作家を輩出しています。また、伝統的な音楽や「アイリッシュ・ダンス」の影響を受けたアーティストが世界で活躍している例もあります。

ちなみに、アイルランドの象徴とされているのが「シャムロック」、三つ葉のクローバーです。古くから聖なる数字である3と馴染み深いシャムロックは、アイルランドにキリスト教を広めた聖パトリックともかかわりが深く、近代ではイギリスへの抵抗のシンボルとしてもみなされるようになりました。



【参考文献】

前波清一 著「現代アイルランド演劇入門『現実と喜び』のドラマ」株式会社彩流社（2016）
山本正 著「図説 アイルランドの歴史」河出書房新社（2017）
海老島均・山下理恵子 編「アイルランドを知るための70章【第3版】」株式会社明石書店（2019）

兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場
一般財団法人尼信地域振興財団助成公演

文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

タラレバ幽霊とタカラの山

台本=谷口雅美・原 竹志（ピッコロ劇団） 演出=原 竹志（ピッコロ劇団）

2022年・23年におでかけステージ（小学校公演）で人気を博した演目がファミリー劇場に登場！

ものがたり

6年1組石原学級のクラスメイトと花火大会の準備をしていたショウ。

幼馴染のリン、転入してきたばかりのナオ、ナオのことが好きなトウヤ、そこにアメリカに転校したはずのエツロウも加わって、夜の学校で肝だめしをすることになった。そこで不思議な女の子、京子と出会う。50年前からタイムスリップしてきた京子は「タラレバ幽霊」になった石原多佳子先生のお母さんだった。



2023年度上演より

日時 2025年
8月9日(土)・10日(日) 4公演予定

会場 ピッコロシアター 大ホール

料金 一般 2,500円 / 高校生以下 1,500円 / セット券(一般+高校生以下) 3,500円

※3歳以上有料。3歳未満でもお席が必要な場合は有料。
※ピッコロサポートクラブ会員は会員種別により招待または1割引。(ピッコロシアターのみで取扱い)

チケット予約開始 6月15日(日) / サポートクラブ会員先行予約 6月14日(土)

出演



ショウ
谷口 遼



石原多佳子
吉江麻樹



エツロウ
岡田 力



リン
今井佐知子



トウヤ
吉村祐樹



ナオ
有川理沙



京子
鈴木あぐり



スムージー
岡島大祐



スムージー
堀江勇気



音楽室の幽霊
木下 出

以上、ピッコロ劇団員

【スタッフ】照明=南 亜紀（ピーエーシーウエスト） 音楽・演奏=木下 出 音響=横田和也（ARTS Inc.）
衣裳=大平順子（安住の地） 衣裳協力=杏華 美術=北村侑也（匿名劇団） 映像=サカイヒロト
振付=有川理沙 演出助手=中島深志 舞台監督=政香里沙 チラシデザイン=中島深志 制作=河東真未

兵庫県立ピッコロ劇団第83回公演

文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

火のようにさみしい姉がいて

作=清水邦夫 演出=眞山直則（ピッコロ劇団）

妻と姉とわたし。

虚構と現実とのあわいに立たされた、三人の男女の物語。

1978年、清水邦夫が描いた、記憶に迷い込む傑作戯曲！

日時 2025年
9月27日(土)～10月2日(木)
※9月29日(月)休演

会場 ピッコロシアター 中ホール

出演



男
堀江勇気



妻
今井佐知子



中ノ郷の女
榎村千晶



青年
三坂賢二郎



見習
宮崎佳恋



みをとらし
吉村祐樹



ゆ
岡島大祐



さんざいみさ
木下鮎美



べにや
大澤寧音



しんでん
木之下由香



スキー帽
中川義文

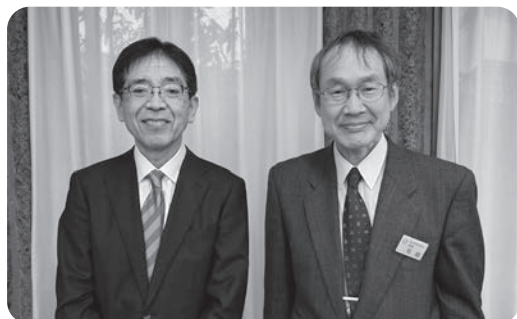
演出：眞山直則（まやま なおのり）（ピッコロ劇団）

1975年宮城県仙台市生まれ。

慶應義塾大学総合政策学部在学中に文学座付属演劇研究所で学び、1999年にピッコロ劇団入団。演出家。平成29年尼崎市民芸術奨励賞受賞。劇団での主な演出作品に、第76回公演『やわらかい服を着て』（作=永井 愛）、オフシアター Vol.35『炎の人—ゴッホ小伝—』（作=三好十郎）、オフシアター Vol.38『月光のつゝしみ』（作=岩松 了）、ファミリー劇場『さらって行ってよピーターパン』（作=別役 実）、おでかけステージ『ピッコロ版・星の王子さま』（台本=原 竹志）など。

退任・就任のごあいさつ

2025年3月末に林 隆之が館長を退任いたしました。
2025年4月より石田勝則が館長に就任いたしました。



(左から) 林 隆之、石田勝則

〈退任〉ピッコロシアター 館長 林 隆之

3月末をもちまして館長を退任いたしました。ピッコロシアターでは、5年間お世話になりましたが、この間はまさにコロナ禍の時期と重なります。常にマスクを着用し、感染対策に気を遣う毎日が続きましたが、お陰様で、ほとんどの公演や事業を無事に開催することができました。

そのような中、去年は、5年ぶりにピッコロサポートクラブの総会を開催することができ、皆様とともに、ピッコロ劇団創立30周年をお祝いすることができたことは嬉しい限りでした。

また、阪神・淡路大震災30年シンポジウムや様々な社会包摂活動を通じて、改めて、演劇の持つ力の可能性を再認識しました。劇場はみんなの広場です。ピッコロシアター・ピッコロ劇団への引き続きのご支援をお願いいたします。ありがとうございました。

〈就任〉ピッコロシアター 館長 石田勝則

4月1日に林前館長の後任としてピッコロシアター館長に就任いたしました石田です。ピッコロシアターは、1978年開館、1983年ピッコロ演劇学校開校、1992年ピッコロ舞台技術学校開校、1994年兵庫県立ピッコロ劇団設置を経て、皆様のご支援と諸先輩たちのご尽力により、劇場、学校、劇団が相互に密接に連携し、充実発展するとともに、各種の表彰を受賞するなど各界からも高く評価をされてまいりました。

今後とも、この「劇場+学校+劇団」の三位一体の運営という強みを生かして、①創造発信、②交流連携、③人材育成、④地域創生の4本柱の諸事業に一層の磨きをかけ、「地域が芸術でつながり誰もが生きやすい社会をつくる」ことをめざしてまいります。

皆様の引き続きのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



ヤマハサウンドシステム株式会社

大阪営業所 大阪市淀川区西中島 4-7-18



舞台美術・舞台技術・舞台制作
照明・音響・映像

KISS

神戸国際ステージサービス株式会社

代表 ☎078-994-1855

本社/神戸市西区見津が丘1丁目16番地の2

おかげさまで

100周年

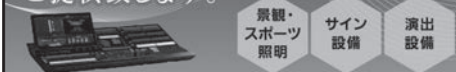
100年の信頼と実績

・自費出版・印刷全般・マーケティング支援

田中印刷出版株式会社 ☎078-871-0551

Panasonic

メンテナンスからリニューアルまで
最適な舞台・スタジオ照明設備環境を
ご提供致します。



景観・
スポーツ
照明

サイン
設備

演出
設備

パナソニックEWエンジニアリング株式会社 近畿支店

〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 JYOタワー9F
TEL(06)6910-0177

Stage Sound Lights
Engineering&Equipment
Event Plan&Management
<http://www.pacwest.co.jp>

PAC WEST

ほりべ運送株式会社

※小さな单身引越し 室内の家具移動 大きな事務所移転
楽器類や催し物の備品類移動まで

TEL : 0120-88-1290

FAX : 06-6428-0035

お見積もりは無料です!
まずはご相談して下さい

ピッコロ劇団 今後の公演ラインナップ

A・J・特別・法人会員は、対象公演から年間3本の公演をお選びいただき、種別・口数に応じてご招待します。

対象外	4月	オフシアター Vol.41 ダウトー疑いをめぐる寓話	作=ジョン・パトリック・シャンリイ 訳=鈴木小百合 演出=中島深志 (ピッコロ劇団)	ピッコロシアター 中ホール
対象公演	5・6月	第82回公演 新天地へ～ある移民の物語～	作・演出= 島守辰明 (ピッコロ劇団)	ピッコロシアター 大ホール ※ピッコロわくわくステージ (中学生団体鑑賞) としても上演
対象公演	8月 11・12月	ファミリー劇場 タラレバ幽霊とタカラの山	台本=谷口雅美 原 竹志 (ピッコロ劇団) 演出=原 竹志 (ピッコロ劇団)	8月 ピッコロシアター 大ホール ※ピッコロわくわくステージ (中学生団体鑑賞) としても上演 12月 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
対象公演	9・10月	第83回公演 火のようにさみしい姉がいて	作=清水邦夫 演出=眞山直則 (ピッコロ劇団)	ピッコロシアター 中ホール
対象外	10・11月	おでかけステージ 学校ウサギをつかまえる	原作=岡田 淳 (偕成社 刊) 台本=眞山直則 (ピッコロ劇団) 演出=吉村祐樹 (ピッコロ劇団)	兵庫県内の小学校など
対象公演	2026年 2月	第84回公演 ピッコロシアタープロデュース リア王	作=シェイクスピア 翻訳=河合祥一郎 (角川文庫『新訳 リア王の悲劇』) 演出=松本祐子 (文学座)	兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

NEWS

■第80回公演「宇宙に缶詰」が第3回関西えんげき大賞(2024年)優秀作品賞を受賞!

関西の年間を通じた優秀作品を顕彰する「関西えんげき大賞」の第3回(2024年)優秀作品賞10作のうち一つに、第80回公演「宇宙に缶詰」が選ばれました。同作は、尼崎市第8回「近松賞」を受賞した作品です。

その表彰式が2月20日、一心シアター倶楽で行われ、作者の肥田知浩さん、演出のサリngROCKさん(突劇金魚)、前館長の林隆之が出席し、表彰状を受け取りました。



■令和6年度ピッコロ・山根演劇賞

演劇を愛し、演劇人の育成に長年努めた故山根淑子館長の名を遺す「ピッコロ・山根演劇賞」。昨年度もっとも活躍した劇団員に送られる賞で、菅原ゆうきと鈴木あぐりが受賞しました。



ピッコロサポートクラブ会員募集

ピッコロ劇団が観客の皆様と交流を深めていくために発足したピッコロ劇団後援会(ピッコロサポートクラブ)。お得な数々の特典で、ピッコロシアターの催し物をお楽しみいただけます。これからもう一層内容の魅力アップをはかります。

●おもな特典(会員ごとに異なります)

- ・ピッコロ劇団公演へのご招待または割引、優先予約
- ・ピッコロシアター自主事業の割引、優先予約
- ・ピッコロシアター利用券(500円分)進呈
- ・ご来場回数に応じて、記念品を進呈
- ・ピッコロシアター催物案内や機関誌の送付
- ・ピッコロ劇団員との交流会へのお誘い

●種類と年会費及び特典

- ・A会員(個人) 6,000円
ピッコロ劇団公演3作品に1名ご招待(同伴者1割引)
- ・B会員(個人) 2,000円
ピッコロ劇団公演の割引(ご本人・同伴者とも1割引)
- ・J会員(高校生以下の個人) 4,000円
ピッコロ劇団公演3作品に1名ご招待(同伴者1割引)
- ・特別会員(個人) 10,000円
ピッコロ劇団公演3作品に2名ご招待(同伴者1割引)
- ・法人会員(企業・団体) 20,000円
ピッコロ劇団公演3作品に4名ご招待(同伴者1割引)

- お問い合わせ/詳しいご案内をお送りします!
ピッコロサポートクラブ事務局 TEL.06-6426-8088

ピッコロサポートクラブへようこそ!

ピッコロ劇団を支援して下さっている法人会員

尼崎商工会議所/尼崎信用金庫/
株式会社尼信経営相談所/尼信ビル株式会社/
尼信保証株式会社/尼信リース株式会社/
尼崎ホテル開発株式会社 ホテルヴィスキオ尼崎/
石光商事株式会社/株式会社柄谷工務店/
株式会社 近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎/
株式会社小西印刷所/学校法人園田学園/
株式会社つむら工芸/西北活性化協議会/
株式会社日興商会/日興油脂株式会社/
株式会社ハートス/株式会社ピーエーシーウエスト/
日之出商事株式会社/ひょうご県友会 神戸支部/
ひょうご県友会 阪神支部/丸善食品株式会社

今後ともご支援お願いいたします。(敬称略) R7.3月末時点

サポーターズ・ヴォイス(アンケートより)

- ピッコロ劇団第81回公演/ピッコロシアタープロデュース『神戸わが街』感想
(2025年2月21日(金)～23日(日・祝)
兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール)
・何か安らかな気持ちで観ていたのですが、最後涙が出ていました。悲しいとかそういうのでなく、でも何か感情が動いていました。日常生活していて何ともないと思っていることが、いつか特別なものになるのかなと思われました。



撮影:飯島 隆

- ・震災で亡くなった友達、支えてくれた家族、今まで生きてきた神戸の町のことを思い出してすごく感動しました。
- ・何気なく過ごしている日常、一度立ちどまって見直してみたいです。



撮影:飯島 隆

- ・始まりからおもしろい演出で、それがいつの間にか神戸での話に重なり、そして最後、日々の生活の大切を充分に感じさせてもらいました。ありがとうございました。
- ・幸せ、豊かさ、至福感、全てひとりでは味わえないものですね。死者と星の存在から日々の幸せをつくづく教えてもらいました。

お寄せいただきましたご意見を参考に、今後もより良い作品づくりに劇団員・職員一同励んで参ります。ご観劇いただきました皆様ありがとうございました。

ピッコロシアター鑑賞劇場

ピッコロ寄席

「桂ざこば一周忌追善落語会」

昨年6月に急逝した桂ざこばを偲び、弟弟子：米二と、筆頭弟子：塩鯛をはじめ、ざこば一門が集います。

【日時】5月10日(土) 14:00

【会場】ピッコロシアター 大ホール

【料金】全席指定

一般3,000円 高校生以下1,500円

【番組】桂ざこば思い出の写真&一門座談会

桂 出丸・桂 力造・桂 米之助・桂 惣兵衛

『阿弥陀池』 桂 りょうば

『上爛屋』 桂 米紫

『ろくろ首』 桂 米二

～ 中入 ～

『米揚げ箆』 桂 わかば

『天神山』 桂 塩鯛



桂 米二



桂 塩鯛

文学座公演

「肝っ玉おっ母とその子供たち」

「賢くしたたかに笑ってやり過ごせ」それが肝っ玉おっ母ことアンナ・フィアリングの処世術。生きるために戦争を利用するが、戦争によって大切なものを失う人間。そのあり様を批判し、笑い飛ばし、見つめ、思考する。アンナ役を寺田路恵が務めます。

【作】ペルトルト・ブレヒト【訳】岩淵達治

【上演台本・演出】西本由香

【日時】5月24日(土) 15:30

25日(日) 13:00

【会場】ピッコロシアター 大ホール

【料金】全席指定

一般5,000円 25歳以下2,000円

【出演】寺田路恵、小林勝也、大滝 寛、山崎美貴、沢田冬樹、太田しづか、上川路啓志、日景温子、武田知久、村上 佳、比嘉崇貴、成田次郎



寺田路恵

ひょうごプレミアム芸術デー

ピッコロシアター文化セミナー〈104〉
落語家 桂米團治さんに聞く

第一線で活躍する著名な舞台人や文化人をゲストにお話しを伺う人気教養講座。104回目は、ピッコロ寄席でもお馴染み桂米團治さんをお迎えします。聞き手は、昨年、「繁昌亭大賞奨励賞」を受賞するなど、活躍めざましい露の紫さんです。

【日時】7月12日(土) 14:00

【会場】ピッコロシアター 大ホール

【料金】無料(要申込・先着400名)

【受付開始】6月初旬予定



桂 米團治



露の紫

ピッコロベイビー・プログラム

「ヒョーゲンアソビノバ」

こどももおとなもひとりひとりそれぞれがそれぞれの表現を安心して楽しむための表現遊びの場。ヒョーゲンアソビの仲間がご一緒にします！

【日時】7月12日(土) 午前・午後2部制

【会場】ピッコロシアター 中ホール

【参加費】無料(要申込)

【対象年齢】

0歳～年長のお子さんと

保護者

【定員】各回先着20組

【受付開始】6月初旬予定



ピッコロシアター文化セミナーラボ〈8〉

松本工房の本づくり～演劇編～

芸術分野の書籍制作・出版を多数手がける大阪の出版社「松本工房」の代表・松本久木さんをお招きし、本づくりに関する創意工夫等についてお話を伺います。

【日時】6月14日(土) 14:00～15:30

【会場】ピッコロシアター1階 閲覧室

【定員】先着30名・要申込

ピッコロ実技教室

40歳からのワンコイン演劇講座

ミドル・シニア世代で演劇に興味のある方や初心者大歓迎！1日だけの演劇講座。

【日時】8月13日(水) 10:00～16:00

【会場】ピッコロシアター 中ホール

【講師】瀬口昌生(大手前大学建築&芸術学部准教授)

【募集人数】要申込 先着20名

(原則40歳以上)

【参加費】500円



瀬口昌生

まわしよみ新聞&演劇ワークショップ

～壁新聞を演じてみよう～

壁新聞づくりと演劇を組み合わせたワークショップ。みんなで読んで、みんなで演じよう！

【日時】8月28日(木) 10:00～16:00

【会場】ピッコロシアター 中ホール

【講師】三好正文(神戸新聞社)

三坂賢二郎(ピッコロ劇団)

【募集人数】要申込 先着20名(高校生以上)

【参加費】一般1,000円

高校生500円



三坂賢二郎

ちゃっと！狂言～入門編～

2日間・8時間で狂言の基礎知識から簡単な実技までを「観て、聴いて、演じて」楽しめる！

【日時】8月23日(土) 13:00～16:00

8月24日(日) 11:00～16:00

※2日連続講座

【会場】ピッコロシアター 大ホール

【講師】能楽師大蔵流狂言方 善竹隆司

【募集人数】要申込 先着30名(小学生以上)

【参加費】

一般

3,000円

高校生以下

2,000円



オペラの楽しみ方

関西二期会オペラ研修所修了オペラ公演の作品解説とリハーサル見学

【日時】8月29日(金) 13:30～17:00

【会場】ピッコロシアター 中ホール

【講師】未定

【募集人数】先着100名

【参加費】無料(要申込)

関西二期会オペラ研修所第61期生
修了オペラ公演

【日時】8月30日(土) 14:00

【会場】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】未定

2025ピッコロフェスティバル
〈県民参加企画〉“演劇部門”出演団体募集

日頃の練習の成果をピッコロシアターで発表してみませんか？

【募集部門】①小・中・高校の部

②大学・一般の部

【応募資格】地域で活動する劇団・演劇部など(アマチュアに限る)

【上演日・会場】

①8月20日(水)・21日(木) 大ホール

②8月5日(火)～8日(金) 中ホール

いずれか1日

【応募締切】①5月30日(金) ②5月2日(金)

●お問合せ・お申込み●

ピッコロシアター TEL 06-6426-1940 FAX 06-6426-1943

(9:00～21:00/月曜休館 ※祝日の場合翌日) 最新情報はホームページで! <https://piccolo-theater.jp>



談 1月18日、赤穂市文化会館 赤穂化成ハーモニーホール展示室にて、風太郎、吉江麻樹、有川理沙、堀江勇氣、浜崎大介（技術）、銭大亮（制作）、が『おはなしBOX in 赤穂市』の公演を行いました。その様子を堀江勇氣に振り返ってもらいます。

今回の『おはなしBOX in 赤穂』では、『オニのきもだめし』と『べっかんこ鬼』という演目を上演しました。『オニのきもだめし』はオニなのにお化けを怖がる赤鬼と青鬼のお話。『べっかんこ鬼』は鬼なのに優しい性格をもってしまって苦しい鬼が、目の見えない少女に恋をしてしまうお話。風太郎さんの作品はいつも古くてあったかい。（個人的感想です。）だけどそれがいい。こどもたちにもわかりやすく大人の方にもどこかキュンと来る。上演が終わって写真撮影をお客様とさせていただきましたが、「感動した」等と言ってもらえやっよかったなと思っています。ただ僕は、終始鬼を演じていたので、終演後の写真撮影の時、こどもたちに怖がられているような感じも少しありましたが（笑）。赤穂という少し遠くで初めましての方々と出会えるのも楽しみの一つです。毎年やれたらいいなあ。（敬意を込めて） ぷーちゃんお疲れ様。



栞 劇団員をひとりひとり紹介する新コーナー「栞」です。第1回は有川理沙。写真は切り取って栞（しおり）にもできます♪

こんにちは！この企画のトップバッターをさせていただきます有川理沙です♪ やっぱ私はバイク大好きなので、バイクの写真にしました！どーん!!!

これは淡路島にツーリングに行った時の写真ですね。はい。イキってますね笑。ごめんなさい笑。

私はお休みの日になると、すぐどこかに友達と旅行とか、バイクに乗ってツーリングに行っちゃいます。

バイクに乗って、風を感じるのが大好きなんです。走りながら色々な景色を見て、その土地の空気を吸って、自然を感じ、まだ行った事のない所に行く。

この企画の話を頂いてから、バイクの写真を見返したら、なぜだか私、崖にばっか登ってました笑。凄い写真いっぱいあるので、また次この企画のお話頂いたら載せようかな笑♪



キ・リ・ト・リ・線・>>



談 2月21日～23日、兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホールにて、『神戸 わが街』が上演されました。演出の吉村祐樹に振り返ってもらいます。

この作品を演出するにあたり、地元で活動している方々と共に芝居を立ち上げたいという思いがあり、神戸を中心に活動されている俳優、コーラスの方々と一緒にすることが出来ました。皆さんとの創作は私にとって、とても刺激的で、「芝居や歌が好きだ!」という純粋な想いで溢れていました。その姿を見て、自分自身の演劇活動を見つめ直す貴重な時間となりました。この公演は「劇団設立30年」と「阪神・淡路大震災から30年」の節目に上演するというので、かなりのプレッシャーでしたが、スタッフの方々、劇団員に支えられて無事最後まで走り切ることができました。ご来場いただいたお客様からもたくさんご声援をいただきました。本当にありがとうございました。そして、劇団も30年という節目を迎え、これからの未来に向けて歩き始めました。今まで培ってきたことを大切にすると同時に、新しいものを果敢に取り入れていく勇気を持たなければと、自分に言い聞かせながら進もうと思います。エイっという掛け声と共に、まずは一歩。



撮影=飯島 隆



談 2月22日『神戸 わが街』で、吉江麻樹が視覚に障害のある方への鑑賞サポートとして「音声ガイド」を担当しました。吉江に話を聞きました。

音声ガイドに関わるのは2度目ですが、今回は初めて音声ガイドの台本作りから担当しました。

音声ガイドの仕事は大きく2つ。一つは、観劇前に聞いていただく事前ガイド。そしてもう一つは、上演中にリアルタイムで舞台の様子をお伝えする、音声ガイドです。

事前ガイドは、あらずじ、舞台セット、役者と衣裳の紹介などを10分程度にまとめたもので、配信したり、当日、開場中にイヤホンで聞いていただくものです。

上演中の音声ガイド台本作りは……最後の最後まで苦戦しました。

劇場では芝居のテンポがどんどん変わり、ガイドが入りきらず、前後の流れでわかる情報はどんどんカットしました。監修の日本ライトハウスの数又さんと、鑑賞サポート担当の古川さんと3人で、最終台本を手直しする中、表現方法も苦労しました。脚立を使って2階の子ども部屋を表現している場面では、脚立の上に立つ息子を、キムラ医師が「おーい、ヨシオ、ちょっと降りてきなさい。」と呼び、「はい、今行く」と返事をして、息子が降りてきます。情報としては「脚立を降りてくる」ののですが「2階から降りてくる」という表現の方がいいのではないかと……。結局、前後の流れで情報は無くてもわかることから、音声ガイドを入れないことになりました。

ピッコロ劇団の音声ガイドは「情報保障」ではなく、お客様の「想像力を保障する」ためのもの、という古川さんの言葉が、心に残りました。まだまだ黎明期。迷いながら選んでいくのかもしれない。終演後、音声ガイドをお聞きくださったお客様の温かい感想に、勇気をもらいました。



学

3月1日、2日にピッコロ演劇学校本科41期生、研究科40期生、舞台技術学校32期生による合同卒業公演が、ピッコロシアター大ホールにて開催されました。本科主任講師の菅原ゆうき、研究科主任講師の島守辰明に、それぞれの所感を聞きました。



よく「俳優は人間力が大事だ」という言説を目にします。どれだけ役に入り込んだとしても、やはり俳優自身の人間性が匂い立つものですし、それを観客は敏感に嗅ぎとります。僕も“役作り”という言葉に懐疑的な方です。

「人間力って何？」という疑問は残りますが、ひとつ言えるのは、学校生の前に立つ人間は俳優と同じかそれ以上に人間力が求められる、ということです。

自分が学校生だった頃を振り返ると、「どんなことを言われたか」よりも「どのように向き合ってくれたか」が残っているような気がします。

学校生の前で「ええかっこ」しようとしてもバレます（ついやってしまうけど）

結局ありのまま自分の経験値を曝け出して、目の前の学校生と向き合うしかありません。

今回、本科の主任を務めるにあたり木之下由香さんと木村美憂さんに助手をお願いしました。

学校生一人ひとりに真っ向から向き合う二人です。この二人なしでは今年の本科はありませんでした。

あらためて感謝と尊敬の念でいっぱいです。



ここ数年通例となった「一年を通して一つの作品に取り組む」というカリキュラムを今年も試みました。前期の基礎トレーニングから夏休みを挟んで9月からはシーンへのアプローチ、そして卒業公演に辿りつきました。

発想を井上光晴作「明日」から得て、昨年の夏に私自身初めて長崎を訪れ、様々な方にお会いし、資料を調べ、「盛夏 一長崎より」という作品になりました。中間発表でその数場面をお披露目し、そうこうしている間に、12月には日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。

研究科生の数名も影響されて、初めて長崎を訪れたことも聞きました。

作品が描く人々、その背景、その言葉、その土地と風土。特に不慣れな長崎弁を始め、さまざまな挑戦と勉強がありました。そう、最後に出てくるおくんちの龍踊（じゃおどり）の竜の頭を学校生たちと手作りにしたことも、作品への理解と思い入れにはいっそう影響があったと思います。

一人ひとりの暮らし、人間関係、それが迎える様々な境遇に触れ、また体感し、自身の血肉とすること。現在世の中では様々な分断が叫ばれるなか、演劇の大切なものを、卒業生の皆さんがこれからも抱いていただけたら、と願います。



談



ピッコロ劇団員の吉江麻樹、風太郎、有川理沙の指導で、尼崎市民劇団「やんちゃんこ劇団」の第5回公演が、3月22日、23日、尼崎市立中央北生涯学習プラザにて、全3ステージ上演されました。

有川の脚本・演出・振付による、尼崎えびず神社を舞台とした猫たちの物語『尼崎 CATS』と、風太郎の脚本・演出・振付による、現世とあの世を彷徨う魂の物語『あの世とこの世でシャバダバダ』の二本立て。吉江は作曲と歌唱指導を担当しました。

出演者は小学3年生～80代の熟年層で31名。483名のお客様に観て頂きました。

楽しくゲームをしたり、班ごとに自分たちで劇を作ったり、台本が完成すれば、時に厳しい指導をしながら稽古は進みます。演じ方も能力も凹凸の集団です。しかし、5年間の変化は、各々が自信を持ち、他者を助けようとする姿です。自分たちの出来ることを精一杯使い観客に楽しんでもらうという姿です。照明スタッフやお手伝いの方々もそれは同じで、皆が家族のように助け合っています。その心が届くのでしょうか。お客様が皆、笑顔でホールを出られます。指導する側の私も、人生で大切なことをプレゼントされた気持ちです。

ありがとう。



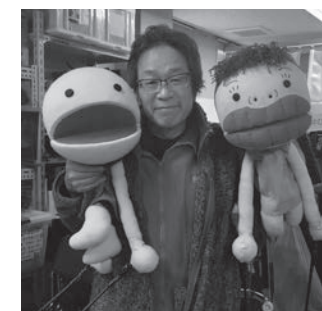
告



2025年3月末をもって、21年間在籍した風太郎がピッコロ劇団を退団いたしました。

長い間お世話になりました。お芝居を見てくださった方々、演出家の方々、スタッフの方々、本館の方々、劇団事務所の方々、御助力くださった方々、関わった外部の方々、劇団員のみんな。一緒に作ったお人形たち、小道具たち。それぞれの年に思い出があります。意見の違いから揉めたことも、仲良く食事したことも、遊びに行ったことも。今、こうして振り返れば、現在の私を形成する為の貴重な体験の数々でした。人生を長い長いお芝居とするならば、私に気付きを与えてくれる重要な登場人物でした。ありがとうございます。

本格的にお芝居を始めて43年。舞台でウケる快感の時期、上手いと言われて天狗になっていた時期、登場人物を掘り下げる面白さの時期、自然体で舞台に立てる時期、相手役とのキャッチボールが大切だと気付く時期、お芝居する意味を考える時期。それぞれが入り混じった年月でした。これからも多くの出会いを経験する中で、自分というテーマの物語を自然と共に紡いで行こうと思います。今一度、みんなにありがとう！（♡）



告

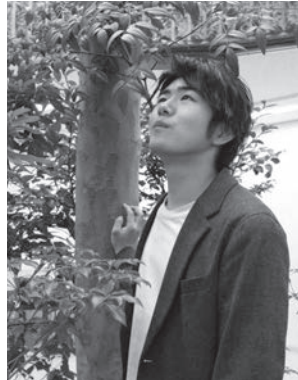
2025年1月に入団試験が行われ、作文・歌唱・舞踊・物言い・面接の審査の結果、鈴木大輝、樋脇望奈、宮崎佳恋の3名が新しく入団しました。それぞれに自己紹介をしてもらいます。

● 鈴木大輝 (すずきたいき)

はじめまして！4月に入団しました！

鈴木大輝です！大輝と書いてタイキと読みます！香川県出身の21歳です！ホラー映画や怪談が好きで、高校生の頃は心霊スポットにも行きまわってました笑

趣味はウイスキーで最近特にバーボンとスコッチのシェリーカスク系にハマってます。ハイボールとカレー作りが得意です笑
高校生の頃に声優になりたく大阪の専門学校に入ったんですけど、授業の中で舞台演劇の授業があったんです。そこで舞台の芝居も面白いと感じて今は舞台上で生の芝居がしたいと思いピッコロ劇団に入団しました。どうぞよろしくお祈りします!!!



● 樋脇望奈 (ひわきももな)

はじめまして。4月から入団しました、樋脇望奈です！高校で大阪府立咲やこの花高等学校に入学しそこから演劇をずっとしてきた私ですが、20歳になったばかりの今年ピッコロ劇団に入団することになりました！まだまだ役者として未熟ですが、精一杯頑張りたいと思っています！入団前は大阪芸術大学短期大学の舞台芸術コースで学んでおりました、そこではトップ(役で)をしてみたりしておりました。私はユニバーサル・スタジオ・ジャパンが好きである時期は毎日行っていて、ユニバへの定期券を買おうか迷っていたりします。どうぞよろしくお祈りします！



● 宮崎佳恋 (みやざきかれん)

初めまして、新劇団員の宮崎佳恋です。

私は幼少期からバレエを習い、道端でも家でも踊っている子供でした。バレエに生かしたいと高校で演劇部に入ったはずが、気がついたら演劇に魅了され、大学の舞台芸術専攻に進んでいました。在学中から小劇場でも出演や衣裳の仕事をしています。好きなことは、観劇、睡眠、知的探求。入団後密かに楽しみにしていることは、ピッコロシアターの蔵書を読み尽くすことです！

2年前ピッコロ劇団の『三文オペラ』に出演させていただいて、この度入団することができとっても嬉しいです。応援よろしくお祈りします！



動

2024年度指導

■西宮市立西宮東高等学校
文化祭上演事前指導
講師=菅原ゆうき
日程=25.2.3

■兵庫県立伊丹北高等学校
文化祭上演事前指導
講師=吉江麻樹 日程=25.3.17

2025年度指導

■ピッコロ演劇学校本科
講師=菅原ゆうき、木之下由香、木村美憂
日程=通年

■ピッコロ演劇学校研究科
講師=島守辰明、谷口遼、中田綾乃 日程=通年

■兵庫県立宝塚北高等学校
講師=孫高宏 日程=通年

■兵庫県立伊丹北高等学校
講師=吉江麻樹 日程=通年

■プール学院高等学校
講師=菅原ゆうき、鈴木あぐり 日程=通年

■四天王寺中学校
講師=榎村千晶、三坂賢二郎 日程=通年

■近畿大学
准教授=島守辰明 日程=通年

■大阪大学大学院人間科学研究科
特任研究員=中田綾乃 日程=通年

■クラーク記念国際高等学校芦屋キャンパス
講師=中川義文 日程=通年

■大阪アニメ・声優&eスポーツ専門学校
講師=中川義文 日程=通年

■ヒューマンアカデミー神戸校
講師=眞山直則 日程=通年

■ABCみかげ保育園
講師=亀井妙子 日程=通年

■やんちゃんこ劇団

講師=吉江麻樹、有川理沙 日程=通年

■コトリ会議

客員=原竹志 日程=通年

■豊岡市新任職員研修

講師=菅原ゆうき 日程=25.4.3

会場=豊岡市役所本庁舎大会議室

■兵庫県立西宮北高等学校 文化祭上演指導

講師=眞山直則、木村美憂

日程=25.4.16、5.28、6.14

■兵庫県立神崎高等学校 コミュニケーション講座

講師=三坂賢二郎、谷口遼 日程=25.4.17

■キング醸造株式会社新入職員研修

講師=中川義文 日程=25.4.25

■兵庫県立夢野台高等学校

教育・心理類型 表現力育成向上ワークショップ

講師=菅原ゆうき、三坂賢二郎 日程=25.5.12

■日本劇団協議会やってみようプロジェクト

「ワークショップ にほんごであそぼう！」

講師=菅原ゆうき、木村美憂、大澤寧音

日程=25.5.17 会場=加東市社福祉センター

■西宮市立西宮東高等学校 文化祭上演指導

講師=菅原ゆうき、三坂賢二郎、鈴木あぐり、

中田綾乃

日程=25.5.26、6.2、9

2024年度外部出演等

■ひょうご外国人介護実習センター「外国人介護職員 異文化理解・対応力向上セミナー」紙芝居上演

企画・出演=風太郎、有川理沙

日程=25.3.12

会場=兵庫県福祉人材研修センター(神戸市)

■コトリ会議「おかえりなさせませんさい」

出演=原竹志 日程=25.3.14~16

会場=なみきスクエア大練習室(福岡県)



株式会社ハートス

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町1-6-29
TEL: 06-6265-2651
https://www.heart-s.co.jp/



シリーズ探訪 53 新しい風を

ピッコロシアター業務部 足立 浩一



読者の皆様、初めまして。昨年11月よりピッコロシアターに配属となりました足立浩一（あだちこういち）と申します。

私はバイクに乗ることが趣味で、休みの日にツーリングをすることが生き甲斐です。

このintoが皆様のお手元に届く頃は、春真っ盛りの暖かい時期でしょうか。暖かくなるとライダーが増え、風を切って走りだす頃合いですね。私も、その中の一人になっていると思います（笑）。

春と言えば、桜の時期！ 走るのであれば山間がベストですね。綺麗な桜並木を横目に春風を切る心地は最高です。よく「風を切って走る」と表現される言葉が似合う季節であると思います。

私は大阪の人間でして、春頃は能勢や豊能（大阪の北部）の山間を走るのが好きです。桜並木の景色が美しく、山の澄んだ空気がとても気持ちいいのです。目的地で頂く料理も好きで、走る目的の一つだったりします。

山の話ばかりしていますが、海沿いを走るのも中々良いですよ。過去に大学の後輩と和歌山の加太に走りに行った事があります。春はちょうどいい暖かさで、潮風を受けながら春の海沿いを走るのもまたオツでした。海沿いは海鮮が美味しい飲食店が多いので、春の美味しい魚介達を頂くのもまた良いですね。…走りに行って食べる事ばかり書いていますが、食べる事も趣味なのです（笑）

下道を地道に走るのも好き、高速道路で駆け抜けるのも好き。バイクと共に駆け抜けるのが好きな男です。皆様のintoの楽しみに新たな風をお届けできたらと思います。以後、お見知りおきを！

ピッコロ劇団・劇団員

劇団代表	岩松 了
劇団員	孫 高宏
	森 好文
	森 万紀
	原 竹志
	櫻村千晶
	島守辰明
	野秋裕香
	木之下由香
	木村美憂
	谷口 遼
	中島深志
	中田綾乃
	宮崎佳恋
	森 好文
	吉江麻樹
	吉村祐樹
	岡田 力
	中川義文
	政香里沙
	菅原ゆうき
	有川理沙
	岡島大祐
	大澤寧音
	鈴木大輝
	亀井妙子
	眞山直則
	今井佐知子
	今仲ひろし
	浜崎大介
	三坂賢二郎
	堀江勇気
	鈴木あぐり
	木下鮎美
	錢 大亮
	樋脇望奈

ピッコロシアター・職員

館長	石田勝則
副館長	小藤智代美
管理部	西田慎太郎
	櫻井豪樹
業務部	梶原由美子
	木屋村優花
	丸尾純子
	大内心咲
劇団部	久次米健太郎
	河東真未
	石井利幸
	中西由香
	古川知可子
	有馬真帆
	横山海大
	山中英希
	西岡宏季
	小西風光
	足立浩一
	新倉奈々子
	山中麻由

(2025年4月1日付)

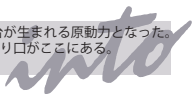
編集後記

ついに私花粉症になったようです…。2年前から軽い症状は出てたんですが、今年は鼻水が止まらないのでマスクして鼻にティッシュを詰めて生活してます。花粉症ってこんなに辛いんですね。今まで他人事だと軽くみてたバツでしょうか…もうすぐ3才になる娘が「もう！怒らないで！ニコニコして〜！」と私の眉間の皺をのぼしてきます。流石に笑ってしまいますが全然笑えないくらい辛い…花粉症の皆さん一緒に乗り切りましょう。（野）

歳を重ねるにつれて、考えが凝り固まってくるのを実感します。人が入れ替わる春は新しい感覚との出会いの季節！ 否定から入らず受け止められるひとでありたいと思います。（山）

into (イントゥ)

かつて、私たちは壁を越えようとして、夢中で出口を探していた。それは、確かに多くの新しい舞台が生まれる原動力となった。そして今、私たちは崩壊した壁の前で直感する。演劇を体温から捉え直すことから始めよう。その入り口がここにある。はからずも何かに出会い、そのことに夢中になるために。



兵庫県立尼崎青少年創造劇場 (ピッコロシアター) 事業運営方針

兵庫県立尼崎青少年創造劇場は、青少年の自由な創造活動を促進し、あわせて県民文化の高揚を図るため、「音楽、演劇、舞踊等の創造活動」「コミュニケーションづくり」「創造活動のための鑑賞会・研究会等の開催」「音楽、演劇、舞踊等の調査研究資料の収集・提供」などを行う目的で、1978年(昭和53)に開設しました。これまで、「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の開設や、全国初の県立劇団「ピッコロ劇団」の創立・運営など、全国でも先進的な事業を行っています。

阪神・淡路大震災の経験もあって、芸術文化を人々の暮らしに欠かせない公共財としてとらえ、演劇を中心とした舞台芸術創造活動の活性化を図ると共に、多くの人たちの社会参加の機会をひらく社会的基盤として充実させるため、以下の運営方針のもとに事業を進めています。

1 上質な演劇を創造し発信します

- 専属のプロ劇団「兵庫県立ピッコロ劇団」(1994年創立)を持つ演劇の拠点劇場として、全国の劇場と連携し、優れた舞台作品の創造・発信に取り組みます。
- ファミリー劇場や学校公演など、子供・青少年向けの作品を製作し、広く地域へ届けます。
- 関西の演劇人材を結集したプロデュース作品を製作し、関西の演劇創造の活性化を図ります。
- 全国各地から発信される優れた舞台芸術を紹介し、鑑賞の機会を提供します。

2 感動を共有できる“人と場”を育てます

- “観る”喜びと“創る”喜びを体感していただける開かれた劇場を目指します。
- 舞台芸術の専門知識を持った職員が常駐し、地域の舞台芸術の創造や表現活動を支えます。
- 「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」が、地域の芸術文化活動を支える人材を育成します。
- 参加型のフェスティバルや実技教室、文化セミナーなど、舞台芸術の創造と交流の場を広げます。

3 演劇の力を活用して地域づくりを進めます

- 地域の文化資源の活用や、住民との協働による創造活動を進め、地域の活性化に貢献します。
- 表現力やコミュニケーション力を育むワークショップの実施や、教育現場での演劇の活用など、地域の未来を担う人材育成に貢献します。
- 舞台芸術を通して、高齢者・障害者・子育て世代など、多様な方々の地域コミュニティへの参加促進に努めます。
- 「兵庫県立ピッコロ劇団」が、様々な地域に出かけ、舞台芸術や舞台創造の感動に触れられる場を広げます。

4 幅広い参画と協働のもとに取り組みを進めます

- 舞台芸術を支える多くの方々の参画のもと、行政・自治体・地域文化団体、大学等の教育機関、他の文化施設などとの協働を進めます。
- 阪神・淡路大震災時の経験を踏まえ、東北との連携をはじめとした広域的な交流を促進し、兵庫から全国へ広く舞台芸術の魅力を発信します。

人が集う。感動を呼ぶ。
驚きがある。
そのすべてが
私たちの活躍の場です。

株式会社つむら工芸

一級建築士事務所

大阪 / 〒550-0003 大阪市西区京町堀2丁目12番24号
TEL.06-6448-2761 (代)

東京 / 〒105-0014 東京都港区芝2丁目2番14号 (一級ビルディング)
TEL.03-6809-5222 (代)

工場 / 〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2丁目8番31号
TEL.072-654-0089

http://www.tsumura-kogei.com

TOTAL DESIGN & PRODUCT REALIZATION

■ 事業内容

各プロジェクトの企画・デザイン・設計・製作・施工・監理・運営・進行業務

● 展示 各種美術展/資料館/他

● 施設 テーマパーク/デパート/ショップ/ショールーム/他

● 景観 シンボルモニュメント/街並演出/他

● 催事 スポーツイベント/地域イベント/式典・コンベンション/博覧会/販売促進イベント/他

● 舞台 コンサート/ミュージカル/舞台機構/演劇/オペラ/ステージショー/他

● 映像 テレビ美術/CG/CM/映画/他

総合建設業

〈関連事業〉カラタニエンジニアリング・トータルサプライ・
ゴショー・デンマークハウス・柄谷倉庫物流・
昌平・昌永不動産



“IF”から“TRY”に。カラ タニ
株式会社 柄谷工務店

取締役社長 柄谷 順一郎



本 社 / 尼崎市玄番南之町4番地 電話 06(6415)2800(大代)
支 店 / 大阪・神戸
営業所 / 西宮・高砂・西播磨